

【 会 議 録 】 (概要)

日時:平成28年8月31日(水) 19:00~21:30

会議名	平成28年度越谷市自治基本条例推進会議 第3回会議	場所	越谷市役所第2庁舎5階 大会議室
件名 議題	1 開会 2 協議事項 (1)自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について 3 その他 4 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 横家会長、駒崎副会長、狩野委員、鋪野委員、立澤委員、得上委員、土方委員、淵野委員、松原委員、浅見委員、戸巻委員、寺島委員、多賀谷委員(13名) 欠席委員 黒須委員、小林委員 事務局 橋本市長公室副参事(兼)政策課長、山崎政策課副課長、根本同主事、丸岡同主事(4名) 傍聴者 1名		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等 <ul style="list-style-type: none">・自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について協議した。次回の会議では、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、また、推進会議の意見を踏まえた平成29年度の市の取り組み予定について協議することとした。・平成28年度第4回会議を平成29年2月2日(木)の午後6時00分から開催することとした。・自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、9月30日(金)までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

こんばんは。本日は非常にお暑い中、またお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。
前回の会議では皆さんから活発な意見交換や建設的なご意見をたくさんお出しいただきました。
本日は、前回会議での意見や提言等をより深めるかたちで、活発にご意見を出していただければと思います。よろしく願いいたします。

事務局あいさつ（橋本市長公室副参事）

こんばんは。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。
前回の会議では、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、委員の皆様からたくさんのご意見をいただきました。
本日の会議では、指標等の追加、修正を行い、また市の施策に対する提言について資料としてまとめてまいりましたので、指標等へのご意見とあわせて、特に市の施策に対する提言についてご意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

2 協議事項

（1）自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について

- ・事務局が、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、【資料1】（第2回会議での指標等への意見及び市の施策への提言）及び【資料2】（越谷市自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項）に基づいて説明した。

（会長）ありがとうございました。

指標等への意見に加えて、より建設的、積極的な市に対する提言を皆さんからいただければと思います。まず、参加の部分でご意見等あればお願いします。

「参加」の報告事項、「審議会等への公募委員の参加状況」に、公募を実施している審議会等の数が示されていますが、母数となる審議会等の数は分かりますか。

（事務局）「越谷市審議会等の設置及び運用に関する要綱」の対象となる審議会等の数が、平成25年4月1日現在で63、平成26年4月1日現在62、平成27年4月1日現在70、また、今年度になりますが平成28年4月1日現在が71です。

（会長）報告事項として示す際に、母数となる審議会等の数もあわせて記載できると良いと思います。

（A委員）審議会等が公開されているか、傍聴率等も指標として示せると良いと思います。

（B委員）ボランティアに類する活動として、生涯学習リーダーバンクや市民活動支援センターの人材バンクの登録者数や活用状況を示すことができると良いと思います。

（C委員）参加の分野の指標を、可能であれば世代別に出すことができると、参加を促進するための方策を考えやすくなると思います。また、議会の傍聴者数も指標に加えていただきたいです。

（事務局）世代別に数値が出せるものがあるかどうかを含めて、検討させていただきます。

（D委員）「越谷市社会福祉協議会ボランティアセンター ボランティア登録者数」について、災害ボランティアの数など、ボランティアの分野ごとに登録者の内訳を出すと、ボランティアの現状が分析しやすいと思います。

（E委員）確かに、災害ボランティアと福祉関係のボランティアは住み分けが違うように感じます。

（F委員）ボランティア保険の加入者数も、参加の現状を測るための指標になると思います。

- (G委員)「防災訓練の参加者数」が減少傾向にあります。防災訓練が有意義なものとして捉えられていない可能性があるため、参加者数を増やすための工夫が必要なのではないかと感じます。
- (H委員)防災訓練の参加者数は危機管理課で把握しているものと思いますが、各自治会に参加者数の調査を依頼していただければ、自発的に報告をしているものだけでなく、より正確な数値が出せると思います。何か災害等があった後には防災訓練の参加者数が増えますが、時間が経つと減ってしまいます。子どもを呼ぶことができれば、ご家族も参加してもらえるため、お子さんの喜ぶイベントとなるよう工夫をしていますが、なかなか苦労しているところです。
- (I委員)防災という切り口は、自治基本条例の理念を生かすこと、また、今の時代とマッチしています。参加者を増やす工夫も、世代別のアプローチなど色々な案を出していくことができると思います。
- (J委員)防災訓練のメニューの工夫、また、働いている世代に参加してもらうために何か工夫できると良いと思います。
- (K委員)学校とPTA、自治会で引き取り訓練というものをやっています。色々な学校で開催されており、たくさんの方が参加されています。
- (L委員)「防災訓練の参加者数」は減少傾向にあり、「ボランティア登録者数」はほぼ横ばい、「審議会等における女性委員の割合」もほぼ横ばいという現状を見て、参加を浸透させるためにより工夫をしていく必要があると思います。
- (会 長)減っているもの、数値が低い指標等に対して、その理由やこうすれば良くなるのではないかといったご意見等もどんどん出していただければと思います。
- (M委員)前回の会議で報告のあった、子ども版パンフレットの活用の取り組みはとても有効だと思います。小中学校の児童生徒の保護者にあたる、30代、40代、50代の世代に向けた取り組みが必要だと思います。漫画や寸劇で表現することができれば、自治基本条例が身近なものとして浸透するのではないのでしょうか。
- (会 長)ありがとうございます。続きまして、協働の分野でご意見があればお願いします。
- (N委員)協働の分野で、数値が上昇傾向にある指標はないように見受けられるため、何らかの対策が必要だと思います。
- (会 長)参加の分野では、防災に関して焦点が当てられていました。協働の分野の指標には、「自主防災組織率」が設定されており、数値が上がっています。この指標の数値をさらに上げる工夫や、その他の指標の数値の原因分析的なご意見、数値を上げる工夫などありましたらご発言ください。
- (O委員)越谷市はあまり大きな災害がないので、防災の意識が少し薄いと思われませんが、その中で自主防災組織率が9割あるというのは、とても高い数値だと思います。また、「地区まちづくり助成金活用事業数」は、数値としては大幅に増えてはいませんが、若い世代、PTAの年代、30代、40代、50代と世代を拡大して、各地区で活性化してきているように実感しています。
- (P委員)「地区まちづくり助成金活用事業数」について、事業数が増えない理由が予算上の制限であるのであれば、予算を増やすための何らかの提言をする必要があると思います。
- (事務局)地区まちづくり助成金活用事業については、事業数のみでなく内容を含めて判断すべき項目と考えています。予算については、地域の皆様のご意見を踏まえ、毎年度担当課と財政課で調整を行っているところです。
- (Q委員)事業を実施するにあたり、地区でも事業費の確保に努めています。抽選券を販売する、寄付を募る、出店で利益を出す等、様々な工夫をしています。
- (R委員)地区まちづくり助成金を活用するにあたって、市から事業がマンネリ化しないようにと言われています。事業の数を増やすという観点だけでなく、質を向上させるということも考えながら事業を行っています。

- (S委員) 市と協働したいと思った時に、どのような窓口で相談すればいいかということが分からないことがあります。そういった課題について、何らかの指標を設定できると良いと思います。協働が進んでいるかということについて、市民活動支援センターの登録団体数を指標として設定することができますが、協働事業についての相談件数や、市民や市民活動団体からの提案で実現した事業数等も指標とできると良いのではないのでしょうか。
- (T委員) 「市民活動支援センター登録団体数」と「市民活動支援センター自主事業実績」は双方とも数値が上がっています。「男女共同参画支援センター登録団体数」と「男女共同参画支援センター自主事業実績」は、登録団体数に大きな変化がないものの、自主事業実績が大幅に増えています。市民活動支援センターと男女共同参画支援センターの指標の数値が違う動きをしている理由を分析し、経過を見ていきたいです。
- (U委員) 市民活動支援センターの指標ですが、自主事業のみの実績ではなく、実施事業すべての実績の数値とすると良いと思います。市民活動支援センターの運営は、開設当初より工夫され、良くなってきています。
- (V委員) 「自主防災組織率」が平成27年度は90.0%となっていますが、あまり実感がありません。
- (W委員) 何かがあったときに動くため組織しているものの、通常時は活動をしていない組織があるため実感がないのではないのでしょうか。自主防災組織が組織されていないのは、マンションやアパートの地域です。マンションの管理組合等として防災の対策はしていても、自主防災組織としては届け出をしていない場合もあると思います。
- (X委員) コミュニティ推進協議会の事業は、自治会に回覧や掲示等をお願いすることが多いです。そのため、自治会に入っている世帯が多い地区ほど、参加者数が多くなります。コミュニティ推進協議会でも、自治会に入ってもらおう工夫をしています。また、防災訓練などの際には、各世帯にヘルメットを配るなどの取り組みを行い、多くの参加を得ることができました。
- (Y委員) 自治会の加入率について、同じ敷地内に親世帯と子ども世帯が住んでいる場合、代表として親世帯だけが加入しているというような場合も多くあります。そういった場合も含めれば、実質的な自治会加入率はもっと高いものと思います。
- (Z委員) 自治基本条例のパンフレットのポケット版があると思いますが、現在の活用状況を教えてください。
- (事務局) 協働フェスタ等のイベントでの配布や、出張講座の依頼があった際にも活用しています。推進会議の委員の皆様に関わるイベント等でお配りいただける場合にもご用意いたしますので、ぜひご活用ください。
- (a委員) 自治基本条例について、職員への周知はどのように行っているのでしょうか。自治基本条例を浸透させるためには、全庁的に意識付けを行う必要があります。
- (事務局) 条例制定時の平成21年に、行政職員を対象として研修を行いました。また、その翌年度以降、毎年度新採用職員を対象に研修を行っています。また、本日参考資料として配付している自治基本条例普及啓発冊子にも掲載されていますが、参加や協働に関するキャッチコピーと写真を募集する際にも、広く市民の方から募集することとあわせて、職員からの作品も募りました。
- (b委員) 「ほっと越谷」の運営など、自治基本条例に則って行われていると思います。そのほかの市が実施する施策も、自治基本条例の理念を生かしながら実施されていると感じています。
- (c委員) 越谷市は自治会活動が活発なように感じます。自治会に加入していない、マンションやアパートに長く住んでいる方に、協働に携わってもらおう働きかけをしていく必要があると思います。管理組合や市民活動団体からのアプローチも有効なのではないかと思います。
- (d委員) 自治基本条例普及啓発冊子に載っている内容で、指標として生かせる項目があるように思います。

- (e 委員) 今回参考資料として配付された自治基本条例普及啓発冊子を、実際に活用した事業数等も指標にできると良いのではないのでしょうか。
- (f 委員) 市の各課が協働に対してどのように取り組んでいるのか、という部分が見える指標を設定できると良いと思います。
- (事務局) 指標について、本日いただいた様々な意見を踏まえて精査させていただきます。市の施策への提言についても、忌憚のないご意見をいただければと思います。
- (会 長) 続いて、情報共有と市政運営の分野について、指標へのご意見、数値をよりよくする具体的なアイデア等ございましたらお願いします。
- (g 委員) 自治基本条例を知っているかどうかということ、指標に組み込めると良いと思います。
- (事務局) 自治基本条例の認知度について、どの分野の指標とするかも含めて整理させていただきます。
- (h 委員) 自治基本条例の認知媒体として「広報こしがや」の割合が大きいです。「広報こしがや」以外の媒体で、どのように周知をしていくかを考えていく必要があると思います。
- (i 委員) 市長や市議会に関して、重要な計画の策定の際など、情報共有の部分で何か有効な指標を設定できると良いと思います。
- (会 長) 意見公募の実施状況等の見せ方を工夫することなどが考えられると思います。
- (j 委員) 「外部評価実施事業数」ですが、平成28年度は不実施となっているため指標から外すことも検討したほうが良いと思います。
- (k 委員) 情報共有の指標として、こしがやエフエムの聴取率を設定することも考えられます。
- (l 委員) 参加の分野になるかと思いますが、市政に興味のある人を測るため、投票率を指標として設定できると良いと思います。可能であれば、年代別に示すことができると良いです。また、越谷市には学生議会という取り組みがあります。若い世代にまちづくりに関心を持ってもらうため、予算面や施策の工夫等、より一層力を入れていきたいです。
- (事務局) 学生議会について、従前は対象者が大学生でしたが、今年度は高校生も対象として開催する予定です。
- (m 委員) 全体を通しての意見ですが、越谷市は自治会の加入率が高く、着実に活動も為されていますが、数値の上昇はあまり見られません。市民活動団体等の関連の数値は上昇傾向にあるため、そういった部分に着目して施策を展開できると良いのではないのでしょうか。また、市政運営の指標の「外部評価実施事業数」の項目は、削除せずに残したほうが良いと思います。
- (事務局) 本日の会議のご意見を踏まえ指標の項目等を精査し、次回会議で改めてお示しいたします。また、自治基本条例の普及啓発についても、この会議の内容を庁内に周知する等、一層の情報発信に努めてまいりたいと考えております。
- (会 長) ありがとうございます。今回出た意見を踏まえ、次回会議で自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、また、推進会議の意見を踏まえた平成29年度の市の取り組み予定について協議することとしてよろしいでしょうか。

・出席委員全員に確認し、了承された。

●合意・決定事項等

- ・次回の会議では、自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、また、推進会議の意見を踏まえた平成29年度の市の取り組み予定について協議することとした。

3 その他

- ・事務局が、次回の日程等について説明した。

※平成28年度第4回会議を平成29年2月2日（木）の午後6時00分から開催することとした。

※自治基本条例の運用状況を確認するための指標及び報告事項について、9月30日（金）までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。

4 閉会（副会長）

本日は長時間にわたりご協議いただき、お疲れ様でした。たくさんのご意見をお出しいただき、その内容を市の施策への提言としてお伝えできるということで、大きな成果となったと思います。ありがとうございました。